

重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)	生活と心にゆとりがあり、誰もがいくつになっても生涯学習に取り組んでいる
施策名	生涯学習の機会と場の充実を図る No.38

年度	平成28年度
責任部長	教育文化部長
主担当課長	生涯学習課長
関係課	教育指定管理課、博物館事務局(博物館、三岸、歴史民)、図書館事務局、青少年育成課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値		実績値				目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
生涯学習に取り組んでいる人の割合(%)	→	26.7	29.7	26.6	27.9	30.5	29.7	33.3
		29.7	31.8	27.4	29.5	29.1		39.9
生涯学習できる場・機会が充足していると思う人の割合(%)	→	27.8	29.9	28.8	30.3	34.0	31.4	33.4
		31.4	34.3	32.8	34.0	34.9		39.3

2. 外的要因(世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等)

民間活動等による生涯学習の機会と場の充実が図られてはいるが、いまだ多くの人が景気回復を実感できるまでに至っておらず、生活にゆとりを持っていない。このため、積極的に生涯学習に目を向け取り組むことが難しい環境にある。

3. めざすべき姿に対する現状評価(まちづくり指標や外的要因等からの評価)

現状評価	B 停滞	まちづくり指標のうち「生涯学習できる場・機会が充足していると思う人の割合」では小幅な変動を含みながらも上昇しつつあり、めざすべき姿に向けて改善傾向にある。一方で、「生涯学習に取り組んでいる人の割合」には波があり、明確な上昇傾向は見られず、改善しているとは判断できない。
------	----------------	--

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価(行政活動の評価)

長期成果(事業群①)		長期成果(事業群②)	
ライフステージや興味に応じた適切な学習の機会がある	(左に同じ)	生涯学習に取り組む人の活動にあった場がある	(左に同じ)
生涯学習情報収集・提供事業	公民館指導者研修事業	地域文化広場指定管理事業	歴史民俗資料館展示事業
蔵書検索・予約システム運営事業	市民美術教室開催事業	一宮スポーツ文化センター等指定管理事業	木曾川資料館展示事業
地区公民館委託事業	文化団体への各種事業委託事業	アイブラザー宮指定管理事業	一宮市美術展開催事業
中央公民館市民文化講演会	市民会館自主文化事業	市民会館指定管理事業	図書館展示事業
市民大学公開講座開設事業	図書館文化事業	木曾川文化会館建設事業	博物館管理事業
成人教養講座事業	博物館講座事業	市立公民館等建替え事業	美術館管理事業
一宮地域文化広場文化教室事業	美術館講座事業	生涯学習バス運行事業	歴史民俗資料館管理事業
学校週5日制対応事業	歴史民俗資料館講座事業	青少年活動支援事業	
学校週5日制施設開放事業		図書館資料提供事業	
青年学習活動推進事業		中央図書館運営委託事業	
青少年グループ地域交流推進事業		公民館管理事業	
青少年グループ育成事業		尾西生涯学習センター施設管理事業	
尾西生涯学習センター運営事業		尾西南部生涯学習センター施設管理事業	
尾西南部生涯学習センター運営事業		美術館展示事業	
生涯学習出前講座事業		博物館展示事業	

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の一手手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	長期成果は生涯学習の活動を進める機会と場の提供に分かれており、モレなくダブリなく設定されている。図書館や博物館、公民館にいたるまで場は十分ある。また博物館・美術館などの特別展の実施、公民館活動など身近な活動から専門的あるいは性別やライフステージに応じた機会の提供もされている。
次年度の改善計画	講座等をより魅力的なものになるよう企画するとともに、多くの方に参加してもらえるよう講座数や会場・参加者数等を検討する。また、すでに生涯学習に取り組んでいるにもかかわらず、自らの活動を生涯学習活動と認識していないことも決して少なくないと思われるため、今後とも「生涯学習」という言葉の浸透に努める。

市民からみた計画の進捗状況 □A ■B □C

- ・A判定(改善傾向) 24%
- ・B判定(停滞) 69%
- ・C判定(悪化傾向) 7%

